



令和8年度

花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟

新潟市立学校園教育の推進

新潟市教育委員会

新潟市教育振興基本計画 目指す人間像 「しなやかに 世界と未来を 創る人」

新潟市が学校園教育で目指すこどもの姿 人とかかわることを通し、自ら判断・決定し、夢や目標の実現に向かう姿

新潟市が目指す学校園教育 「多様性」を前提とし、全てのこどもたちの「自分らしさ」が発揮され、「可能性を引き出す」教育

学校園運営のイメージ

各学校園教育ビジョンの実現

自校園の教育活動の創造

学校園
の取組

各学校園は、自校園で設定する目指すこどもの育成に向け、自校園の教育ビジョンを策定し、その実現に向けて取り組めます。その際、「教育の動向」を注視しつつ、下記の事項を学校園運営の基盤としてとらえ、教育委員会の取組を参考・活用しながら、自校園の教育活動を創造します。

学校園運営の基盤

特別支援教育の推進

- ・授業UD・UDLの推進
- ・学びの場の充実

カリキュラム・マネジメント

- 主体的・対話的で深い学びを実現するための個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 教育課程の編成・実施

組織マネジメント

- 目的に応じた組織編制
- 教職員等の良さや強みを生かしたチーム編制
- 教職員の資質・能力の向上

教育のDX化

- ・ICTを活用した学びの充実
- ・校務DXによる校務の効率化

地域との連携・協働

- ・CSとパートナーシップ事業の一体的推進
- ・地域人材の参画

新潟市教育振興基本計画 ～にいがた学びのコンパス～

教育委員会
の取組

新潟市教育振興基本計画の具現化と学校園教育の推進

教育委員会は、国の動向、新潟市のこどもの現状(成果と課題)、新潟市の未来の教育を見据え、新潟市教育振興基本計画を基に施策・事業を展開し、各学校園の教育を支援・推進します。

新潟市教育振興基本計画～はいがた学びのコンパス～〔概要〕

前期実施計画のうち学校園教育に関するもののみ抜粋

令和7年度からスタートした新潟市教育振興基本計画の前期実施計画を基にしています。

この指標を参考にして、各学校園の教育計画を策定してください。

I 生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり

▶ 確かな学力の育成

指標

- 学ぶことが楽しいと回答した児童生徒
- 学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒
- 学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒

主な事業

- 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした保育・授業改善
- 学力実態調査分析
- 学習支援連携
- 「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進
- 外国語教育支援
- 幼保こ小連携推進
- 「新潟市の小中一貫教育」の推進
- 学校図書館の充実及び活用推進

▶ キャリア教育の推進

指標

- 将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒
- 総合的な学習(探究)の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒

主な事業

- キャリア教育推進(キャリアパスポート活用)
- 地域探究・体験
- キャリア教育連携
- 探究学習推進

▶ 体力づくり・健康づくり・食育の推進

指標

- 「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒

主な事業

- 運動大好き体力向上ジャンプアッププロジェクト
- 児童生徒の食育・健康づくり推進
- 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策
- 学校給食の充実

II 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

▶ 人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成

指標

- 自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒

主な事業

- 児童生徒の自立促進推進
- 男女共同参画教育の推進
- 学校における人権教育、同和教育の推進
- いじめ対応への支援

▶ 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進

指標

- 学校は楽しいと肯定的に回答した児童生徒
- 特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校
- 学校内外の機関から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒

主な事業

- 帰国・外国人園児児童生徒への支援体制の整備
- 不登校・不登校傾向対策
- 個別の教育支援サポート
- 巡回通級指導教室整備
- 適切な就学のための相談・連携支援
- 特別支援教育推進のための学校園体制支援

▶ 創造性に富み、世界とともに生きる力の育成

指標

- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童生徒
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒

主な事業

- 国際交流推進
- 外国語指導助手(ALT)配置
- 外国語教育支援<再掲>
- ESD(SDGs)推進

▶ いのちの教育・心の教育の推進

指標

- 自分にはよいところがあると回答した児童生徒
- 困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒

主な事業

- いのちを大切にする教育推進
- 議論する道徳科推進
- 自己肯定感向上

III 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり

▶ 地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進

指標

- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒
- 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒
- 学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者

主な事業

- 地域とともにある学校づくり推進
- こどもふれあいスクール
- 地域クラブ活動推進
- 地域見守り活動支援
- 「防災教育」学校・地域連携
- 地域探究・体験

▶ 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進

指標

- 自分が住んでいるまち(地域)が好きだと回答した児童生徒
- 地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒

主な事業

- 地域探究・体験<再掲>
- 優れた音楽・芸能に触れる機会の提供
- 「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進<再掲>

IV 多様な学びを支える教育環境の整備・充実

▶ 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実

指標

- 学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒
- 教育を受ける環境(学校以外も含む)が充実していると回答した保護者

主な事業

- 就学援助
- 新潟市奨学金貸付
- 地域見守り活動支援<再掲>
- 幼児教育推進体制
- 学校適正配置
- 学校施設整備
- 地域クラブ活動推進<再掲>

▶ 教育DXの推進とICT環境の整備・充実

指標

- 学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒
- ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員

主な事業

- 教育DX環境整備
- 次世代の校務DX環境整備
- 教育DX人材育成

▶ 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実

指標

- 主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員
- 充実して仕事に取り組んでいると回答した教職員

主な事業

- 教職員研修における大学との連携
- 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした保育・授業改善<再掲>
- 多忙化解消対策推進
- 特別支援教育推進のための学校園体制支援<再掲>
- 教育関係職員の研修プログラム

子どもたちや学校園を取り巻く「教育の動向」と教育委員会の願い

- 社会の変化に応じて子どもの実態は多様化し、教育課題は複雑化しています。また、VUCA の時代に子どもたちが豊かな人生を切り拓いていくために、一人一人の子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、様々な個性をもつ他者を尊重し、協働していく必要があります。そこで新潟市では、学校園教育を通じて、「人とかわることを通し、自ら判断・決定し、夢や目標の実現に向かう姿」を目指します。そのために画一的・一斉一律等の指導のみに固執しないことが重要です。「多様性」を前提とし、全ての子どもたちの「自分らしさ」が発揮され、「可能性を引き出す」教育を追求することで、子どもたちの Well-being の向上を図りたいと考えます。
- 「教育は人なり」という言葉のとおり、新潟市の教職員は、献身的で熱意にあふれており、多くの成果を上げてきました。今後も、教職員が子どもに寄り添い、学び手の伴走者としての業務に取り組んだり、学び続けたりできるように、教職員の Well-being の向上を図りたいと考えます。

学校園運営の基盤

学校園運営においては、カリキュラム・マネジメントと組織マネジメントが重要です。

カリキュラム・マネジメント

各学校園で設定した子どもの資質・能力を育むための教育課程・保育課程の創造と、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善、「主体性を育む保育」を目指すことこそが学校園教育の基軸です。

その際、「目的・手段・見取り」に一貫性をもたせ、学校内外の人と共有しながら実践し、PDCA サイクルにより、充実を図っていきます。

組織マネジメント

カリキュラム・マネジメントが実を結ぶためには、教職員の力が相互に生かされる組織・チーム編制と実践が欠かせません。また、教育活動に取り組みながら子どもの学びと相似形の学びを教職員が行い、教職員の力量を高めていくことも重要です。

さらに、学校内にとどまらず、学校を支える方々との対話を通し、連携・分担により学校をともに運営していきます。

また、社会の変化に応じて子どもたちの実態や教育に求められる期待は多様化し、課題も複雑化しています。

授業UD・UDLを含めた、**特別支援教育の推進**は、子ども一人一人の自分らしさが一層尊重され、多様な学びと成長につながります。

ICTの活用を中心とした**教育のDX化**は、多様な情報を空間や時間を超えて取り扱うことができ、効率的でさらなる充実を教育にもたらしてくれます。

人材や文化・自然をはじめとする**地域との連携・協働**により、様々な方々とかかわったり、地域の良さや課題に触れたりすることは、社会に開かれた教育課程の実現に不可欠です。

新潟市はこれらを「創造」へ導く大切な基盤と考え、子どもに寄り添い、伴走し、学校内外の人々と連携・協働し、豊かな教育を展開していくことを目指します。